

平成25年第4回伊賀市議会（定例会）

請 願 文 書 表

平成25年6月6日

1 受 理 番 号	請願第 1 号
2 受 付 年 月 日	平成25年5月29日
3 請願者の住所 及び氏名	名張市すずらん台東2-218 全日本年金者組合三重県本部 伊賀名張支部執行委員長 和田四十八
4 請 願 の 件 名	年金額2.5%の削減の中止を求めることについて
5 請 願 の 要 旨	<p>「特例水準」は2000～2002年に高齢者の生活実態と経済状況に配慮して物価スライドを実施しなかったことに発するもので、当時よりも状況が悪化している現在、これを「解消」する理由はまったくありません。</p> <p>2000年度以降、年金額は2.2%減らされています。これに2.5%の削減が加われば、高齢者の生活はあっという間に厳しくなります。また、高齢者の約7割は年金収入だけで生活しており、高齢化率の高い地方での経済にも多大な影響を及ぼします。</p> <p>以上の趣旨をご理解の上、審議をいただき、地方自治法第99条の規定により国に意見書を提出くださるよう請願するものです。</p>
6 紹 介 議 員	稲森稔尚
7 付 託 委 員 会	教育民生常任委員会

1 受理番号	請願第 2 号
2 受付年月日	平成25年5月29日
3 請願者の住所及び氏名	三重県津市観音寺町429-13 三重県保険医協会 会長 渡部泰和
4 請願の件名	風疹の予防接種費用に公費助成を求めることについて
5 請願の要旨	<p>国立感染症研究所感染症情報センターは今年の風疹の患者報告数が2013年5月8日時点で5,964人（うち三重県は32人）と発表しました。この数は昨年1年間の患者数に比べ既に約2.5倍に上り、今後も増え続けると懸念されています。今後の流行・拡大を防ぐためにも予防接種を受けることがこれまで以上に重要となってきます。</p> <p>現在、定期接種の対象は1歳児（第一期）と小学校入学前1年間（第二期）です。しかし現在流行の中心となっているのは、患者数の約8割近くを占めている男性、特に20代～40代の人たちです。この世代は未接種者が多い世代と言われています。また男性患者から妊娠初期の女性に風疹が罹ると、胎児に先天性風疹症候群の障害が出る恐れがありますが、2012年以降先天性風疹症候群は全国で10人に発生しています。こういった現状の中、妊娠前に予防接種を受けることが重要視されています。</p> <p>風疹の流行をうけ、東京、神奈川を始め、全国の多数の自治体で風疹の予防接種に対する公費助成が開始されています。伊賀市におかれましても、住民の命と健康を守るためにも緊急に下記事項の実施をすることを請願します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>一、現在の定期接種が開始された平成7年4月1日より前に生まれた方（今年度19歳以上の年齢となる方）に対し風疹予防接種費用の公費助成を行うこと。少なくとも風疹に罹ったことがなく、予防接種を受けていない方で今後妊娠を予定、希望する女性および妊婦と同居する家族に対して風疹予防接種費用の公費助成を行うこと。</p> <p>一、予防接種未接種者に対して、積極的接種を勧奨、周知を徹底すること。</p> <p>一、国に対し「予防接種未接種者が予防接種を受けるために必要な措置を講じること、県や各自治体が行う公費助成等に対し財政措置を講じることを求める意見書」を提出すること。</p>
6 紹介議員	稲森稔尚
7 付託委員会	教育民生常任委員会